

## パソコンを長く使い続けるために！

パソコンを使い続けていると物理的に故障したり、処理が遅くなってやりたいことができなくなるなど、性能に不満が出てきたりするものです。仕事やプライベートで大切なデータを取り扱っているパソコンですから長く使い続けていきたいものです。そこで、できるだけ長く使い続けるためにパソコンのメンテナンスを見直してみたいはかがでしょうか。

### バッテリーや液晶画面の持ちを良くする！

バッテリーを搭載するノートパソコンの場合、コンセントを挿したままパソコンを使用すると、少しバッテリーが減っただけで充電（**継ぎ足し充電**）をしてしまいます。この場合、充電と放電が繰り返し行われてしまい、**充電回数が多くなりバッテリーの寿命が縮まる**要因になります。また、フル充電の状態でも充電し続けるのもよくありません。長時間使わないときはコンセントを抜いて充電を止めましょう。バッテリーはカラの状態でも放置するのも悪く、80%ぐらいの状態でも保存しておくのが長持ちの秘訣です。

最近のノートパソコンは、**フル充電防止機能**を搭載したものや、**電源管理ツール**が付いているものもありますので、付属されていれば活用してみてください。（右図はVAIOのツールです）

バッテリーは寒さに弱く、寒い場所に放置し続けると、充電ができなくなったり、不具合が生じることがあります。反対に炎天下の自動車の中にバッテリーを取り付けたパソコンを放置することも良くありません。盗難防止の意味でも外出先では携帯しましょう。

パソコンの液晶画面も使い続けていくうちに劣化していきます。パソコンを使わない休憩時間などは、モニタの電源を切るなどの設定をしておきましょう。Windowsの電源に関する設定は、コントロールパネルの「**電源オプション**」で行います。Windows 10なら「**設定**」→「**システム**」から、下図の画面でも設定できます。液晶の明るさを調整したりモニタの電源を切る時間やスリープするまでの時間を短くするなど、ちょっとした設定を変えることで液晶画面への負担が軽くなります。



ノートパソコンなら、バッテリー駆動時と電源接続時を別々に設定できたり、カバーを閉じた時の動作の設定もできます。さらに、「**詳細な電源設定の変更**」を開けば、もっと細かい設定もできますので、一度確認してみてください。



VAIOの「いたわり充電モード」の画面

### 衝撃からパソコンを守る！

ノートパソコンを普通のバックで持ち歩いていたら調子が悪くなった・・・という体験をしたり聞いたことがある方はいませんか。電子機器のパソコンは「**衝撃に弱い！**」ものですが、衝撃の他にも圧力や変形にも注意が必要です。書類と一緒にギュウギュウ詰めにしたバックでノートパソコンを持ち運ぶと、外部から圧力がかかり、液晶に不具合がでたり、電子部品の接合部にズレが生じて動作不良の原因になる場合もあります。持ち運ぶときは**ノートパソコン専用バック**や衝撃を吸収する**インナーバッグ**などを使い、ノートパソコンを外部からの衝撃や圧力から守りましょう。

パソコンを衝撃や圧力から守る専用バック



衝撃吸収素材を使用したインナーバッグ

### 熱やホコリも苦手！

パソコンが苦手なのは衝撃だけではなくありません！

パソコンは自分自身が発熱するのに熱に弱いので、熱がこもらないように、通風口から排熱しています。通風口を塞いで使用し続けると内部の部品にダメージを与えてしまいます。



すぐに故障することはありませんが、突然電源が落ちたり、再起動したりというような症状が発生することがあります。

デスクトップパソコンの場合は壁から十分距離をとるように設置して通風口からの熱を逃がしやすくしましょう。ノートパソコンの場合は通風口が側面にある機種が多く、じゅうたんやマットに直接置くと、パソコンの重さで沈んだ分だけ通風口が塞がれたようになり、熱が逃げにくくなりますので注意してください。また、底面からも排熱する機種もありますので、平らな机やテーブルの上で使用して、熱を逃がしやすくしましょう。



長い間使用していると、通風口にホコリがたまり、排熱効率が悪くなるので、定期的に掃除をすることも必要です。パソコンの通風口がどこに付いているか、排熱を妨げているものがないか、確認してみましょう。



パソコンを長く使い続けるためには、それほどたいした事をする必要はありません。日頃からちょっとしたことに気をつけるだけで、寿命はずいぶん変わるものですよ。

### 開発室から



平原にポツリと1本だけ立つポプラの写真を見たことのある方も多いと思いますが、この北海道美瑛の「哲学の木」が伐採されました。伐採の理由が木の寿命の他に、観光客のマナーの悪さもあったそうです。「旅の恥はかき捨て」という諺がありますが、「恥」と「マナーの悪さ」は違いますよね。

